モルディブ観光局ニュースレター
Vol. 5, January 2005 Issue

モルディブは元気です！　８７のリゾートのうち５５が全面営業

意外と被害が少なかったモルディブ

モルディブ観光省からの昨年１２月２８日現在の情報によると、リゾート、交通、ライフラインの被害は殆どなく、通常営業を既に行っているリゾートが多数とのことでした。モルディブは GDP の３０%が観光業によるものです。観光客が激減することで観光業が打撃を受けると、モルディブの国全体の経済や福祉、教育に影響を及ぼします。モルディブが壊滅状態にあるというイメージを持っていらっしゃる方が非常に多いため、観光業に影響が出始めています。モルディブが既に昨年末から通常営業できる状況であることを皆様に知っていただきたいというのが、今のモルディブの願いです。

モルディブのリゾートの状況は？

昨年１２月２８日現在、８７のリゾートのうち、５５のリゾートは全面営業、１３は部分営業、そして１９のリゾートが営業停止の状態です。部分営業である１３のリゾートは数週間のうちに通常営業に戻れるという見通しが立っています。また営業停止の１９のリゾートの中で１５のリゾートは復興に少なくとも６ヶ月の時間がかかるであろうと推測されています。

なぜ被害が少なかったのか？

モルディブ観光省では、今回の津波はモルディブの観光業それ自体にはさほど大きな影響はなかったとの見解を示しています。なぜなら、一島一リゾートのモルディブでは、各リゾートが既に独自のインフラを確立しているからです。自家発電機や下水施設はもとよりごみ処理システムや水の浄化システムなどが非常に充実しています。電気や水は滞ることなく供給され、漏電による火災や感電による事故、水の汚染や伝染病などの二次災害の問題もありませんでした。またリゾート島が極めて平たんであったこと、砂の質がよかったことが幸いし、洪水の引きも早かったと報告されています。

モルディブ全体の被害は・・・

モルディブ観光省によると、昨年１２月２９日現在で既に、国際線旅客機は全面運行しており、空港とリゾートを結ぶ水上飛行機も運行を再開しています。モルディブでは、今回のスマトラ沖地震によるモルディブの初期被害の確認を終えており、１２月２９日現在の情報によると、リゾート以外では、２００の島がダメージを受けています。人的被害としては、３名の旅行客と６２名のモルディブ人が亡くなっており、７３名が行方不明となっています。幸いなことにダイバーでなくなった方はいませんでした。

来てくださることが最大の支援

今モルディブが恐れていることは、モルディブが壊滅状態であるとか、危険であるというイメージで旅行のキャンセルが相次ぎ、観光客の足が遠のくこと、観光産業がストップしてしまうことです。モルディブの観光産業やリゾートにとっての最大の支援は、日本から、そして世界中から、再び多くの観光客が訪れてくださることです。モルディブのリゾートは元気です。安全面・衛生面も確認されています。モルディブは、これまで通り、皆様がモルディブへの旅行を楽しんでくださることを願っています。

お問い合わせ
詳しい情報はモルディブ公式サイト www.visitmaldives.com をご覧ください。
メディアの方からのお問い合わせや取材のご依頼は、
モルディブ政府観光局広報センター（パブリシスダイアログ内）アーチャー／花田
（０３－５７１９－８９５８）まで。